

平成24年度

上尾市立小・中学校学力調査結果

〈概要〉

(平成24年4月12日実施)



— 夢・感動教育 あげお —
上尾市教育委員会

目 次

1	学力調査実施の概要	
(1)	調査の趣旨	1
(2)	調査対象	1
(3)	調査期日	1
(4)	調査教科及び調査時間	1
(5)	使用検査紙	1
(6)	調査人数	1
2	上尾市学力調査結果の概要	2
3	学校別・学年別調査結果の概要	
	【小学校】 総合	3
	【中学校】 総合	4
4	教科別調査結果の概要	
	【小学校】	5
	【中学校】	6
5	領域別・観点別調査結果の概要	
	【小学校】	7
	【中学校】	11
6	各教科の課題と改善の視点	
	【小学校】	15
	【中学校】	16
7	質問紙調査結果の概要	
	【小学校第6学年】	17
	【中学校第3学年】	24
8	まとめ	32

1 学力調査実施の概要

(1) 調査の趣旨

本市児童生徒の学力の実態を把握するとともに、課題を明らかにして学習指導の改善を図ることにより、確かな学力を育成する。

(2) 調査対象

小学校 3. 4. 5. 6年

中学校 1. 2. 3年

(3) 調査期日

平成24年4月12日(木)

(4) 調査教科及び調査時間

小学校：第3学年～第6学年 国語(40分)、算数(40分)

中学校：第1学年 国語(40分)、算数(40分)

中学校：第2学年・第3学年 国語(45分)、数学(45分)、英語(45分)

※ 出題範囲は、前年度の学年の学習内容

※ 小学校第6学年、中学校第3学年で質問紙調査を実施

(5) 使用検査紙

T K式領域別標準学力検査(田中教育研究所編)

(6) 調査人数

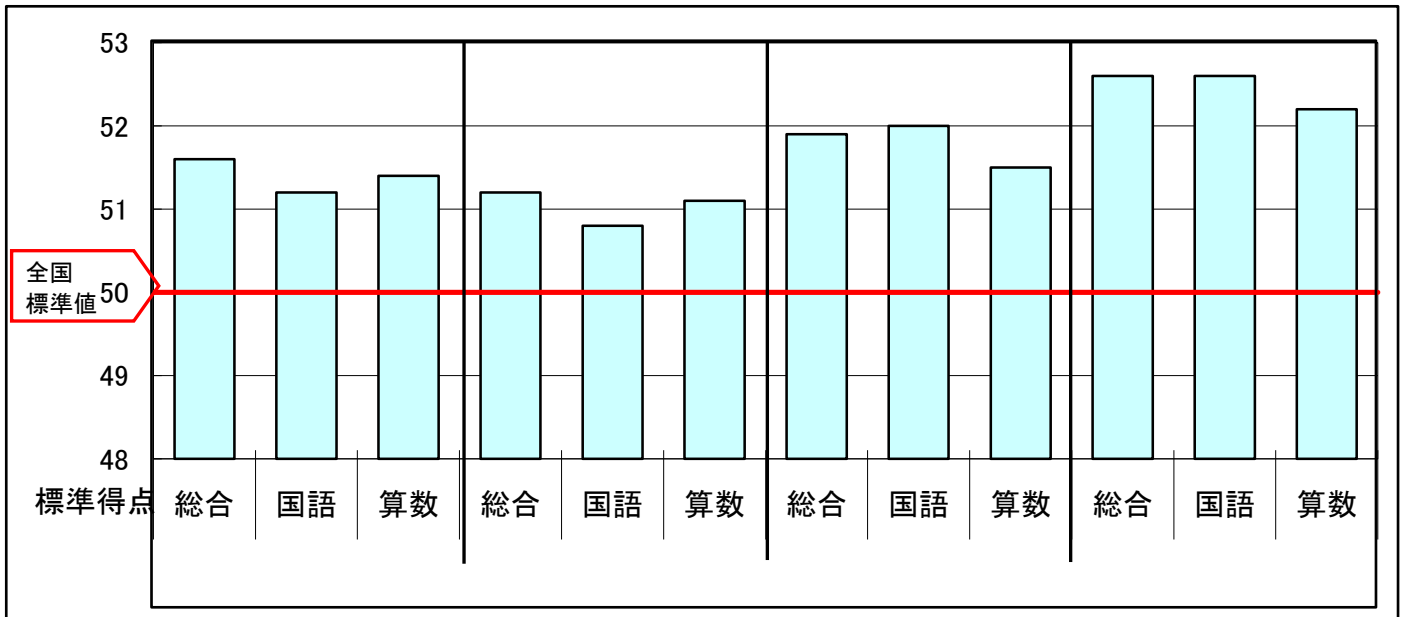
	国語		算数・数学		英語	
	調査人数	実施率(%)	調査人数	実施率(%)	調査人数	実施率(%)
小学校	8,345	98.8	8,346	98.8	—	—
中学校	6,135	98.0	6,136	98.0	4,048	97.4
合計	14,480	98.4	14,482	98.5	4,048	97.4

2 上尾市学力調査結果の概要

【小学校】

全体 51.8

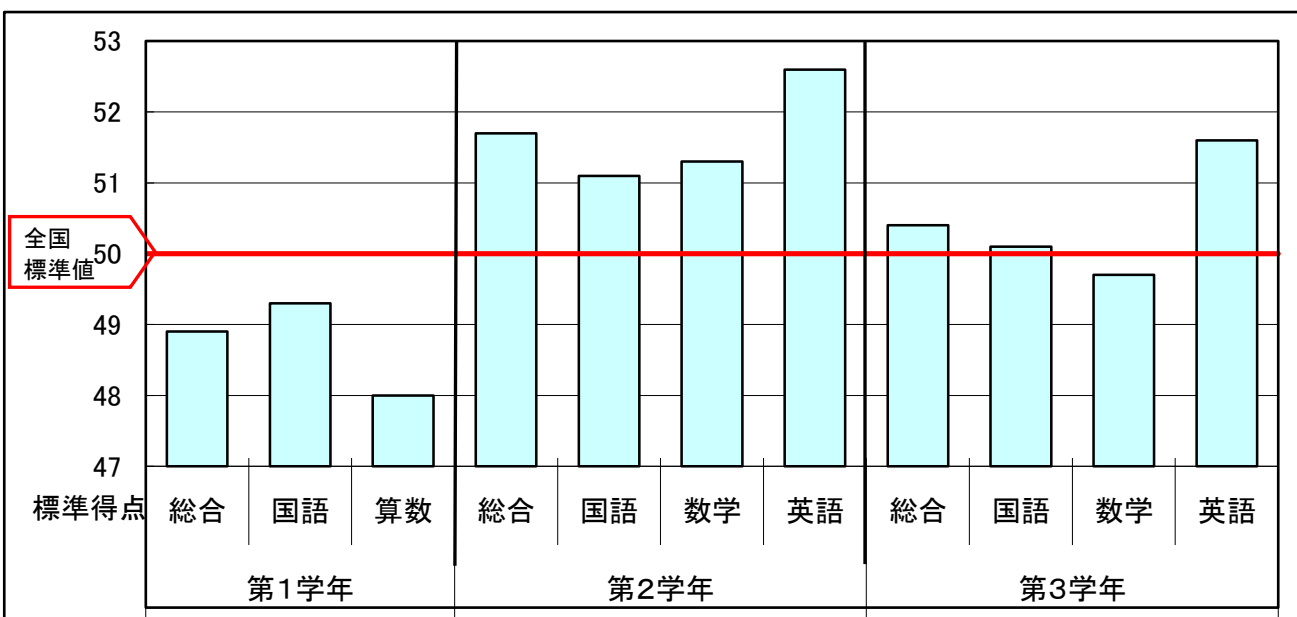
	第3学年			第4学年			第5学年			第6学年		
	総合	国語	算数	総合	国語	算数	総合	国語	算数	総合	国語	算数
平成24年度	51.6	51.2	51.4	51.2	50.8	51.1	51.9	52.0	51.5	52.6	52.6	52.2



【中学校】

全体 50.3

	第1学年			第2学年				第3学年			
	総合	国語	算数	総合	国語	数学	英語	総合	国語	数学	英語
平成24年度	48.9	49.3	48.0	51.7	51.1	51.3	52.6	50.4	50.1	49.7	51.6



3 学校別・学年別調査結果の概要

〔表の見方〕

- ① 数値は、全国標準値を50.0とした場合の各学校の数値である。
- ② 小学校22校、中学校11校の学校全体の平均値と各学年の平均値をそれぞれ数値の高い順に示している。
- ③ 同じ行の数値が、すべて同じ学校のものであるとは限らない。

【小学校】

総合（国語と算数を統合した数値）成績一覧

	学校全体	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年
1	56.9	57.5	58.2	57.1	54.9
2	54.2	53.6	53.7	56.6	54.5
3	53.5	53.4	52.8	53.6	54.3
4	53.2	53.0	52.7	53.5	54.0
5	52.3	52.2	52.5	52.5	54.0
6	52.2	52.1	52.0	52.4	53.9
7	52.2	52.0	52.0	52.4	53.9
8	52.1	51.3	51.9	52.3	53.9
9	52.0	51.2	51.9	52.2	53.7
10	51.7	51.2	51.8	52.2	53.6
11	51.6	51.1	51.7	51.9	53.6
12	51.3	51.1	51.0	51.8	53.4
13	50.9	51.1	50.5	51.7	52.9
14	50.9	51.0	50.0	51.4	51.5
15	50.7	50.9	49.9	51.2	51.5
16	50.7	50.8	49.8	50.5	51.1
17	50.3	50.5	49.5	50.3	51.0
18	50.3	50.4	49.0	50.0	50.9
19	50.1	50.3	48.9	50.0	50.2
20	49.9	48.3	48.4	48.7	50.1
21	49.8	48.1	48.3	47.9	48.3
22	49.0	47.4	47.4	47.5	48.1
上尾市全体	51.8	51.6	51.2	51.9	52.6

【中学校】

総合（第1学年は国語と算数、2・3学年は国語と数学と英語を統合した数値）一覧

	学校全体	第1学年	第2学年	第3学年
1	52.8	50.5	53.7	54.5
2	51.6	50.0	53.1	52.8
3	50.9	49.9	52.6	50.9
4	50.7	49.2	52.3	50.8
5	50.6	49.1	51.9	50.7
6	50.3	48.9	51.7	50.2
7	49.4	48.7	51.2	50.2
8	49.4	48.0	51.0	48.7
9	49.1	47.9	49.3	48.1
10	48.6	47.9	49.1	48.0
11	46.9	46.0	48.1	46.5
上尾市全体	50.3	48.9	51.7	50.4

（分析）

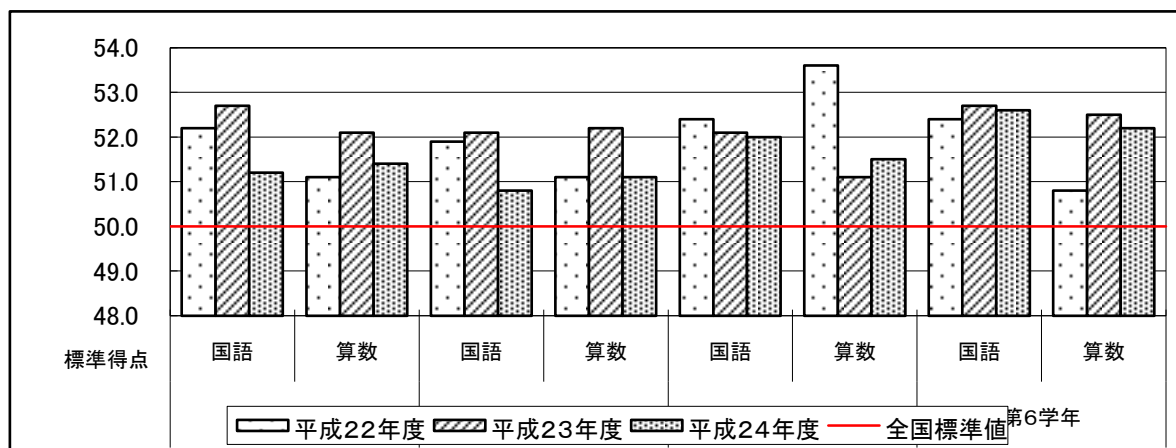
- 小学校では、22校中19校において、学校全体の総合成績が全国標準値を上回っている。
 - 中学校では、11校中7校において、学校全体の総合成績が全国標準値を上回っている。
- ・ 小学校では、上尾市全体として全国平均を上回っている。
学年別の状況も、すべての学年で全国平均を上回っている。
 - ・ 中学校では、上尾市全体として全国平均を上回っている。
学年別の状況は、2、3学年は全国平均を上回っているが、1学年は下回っている。

4 教科別調査結果の概要

【小学校】

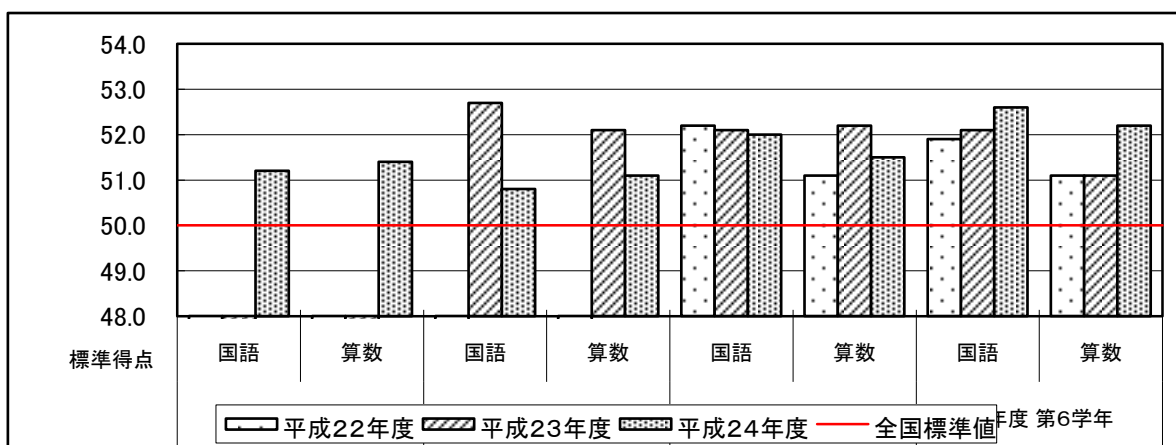
(1) 平成22年度～平成24年度の同学年における比較

	第3学年		第4学年		第5学年		第6学年	
	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数
平成24年度	51.2	51.4	50.8	51.1	52.0	51.5	52.6	52.2
平成23年度	52.7	52.1	52.1	52.2	52.1	51.1	52.7	52.5
平成22年度	52.2	51.1	51.9	51.1	52.4	53.6	52.4	50.8



(2) 平成22年度～平成24年度の同グループにおける比較

	本年度 第3学年		本年度 第4学年		本年度 第5学年		本年度 第6学年	
	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数
平成24年度	51.2	51.4	50.8	51.1	52.0	51.5	52.6	52.2
平成23年度	*	*	52.7	52.1	52.1	52.2	52.1	51.1
平成22年度	*	*	*	*	52.2	51.1	51.9	51.1



(分析)

本年度も、すべての学年において、国語、算数ともに全国標準値を上回っている。

【同学年における比較】

- 昨年度との比較では、第5学年の算数が上回っている。
- 3年間の経過を見ると、第5学年の国語が下がっている。

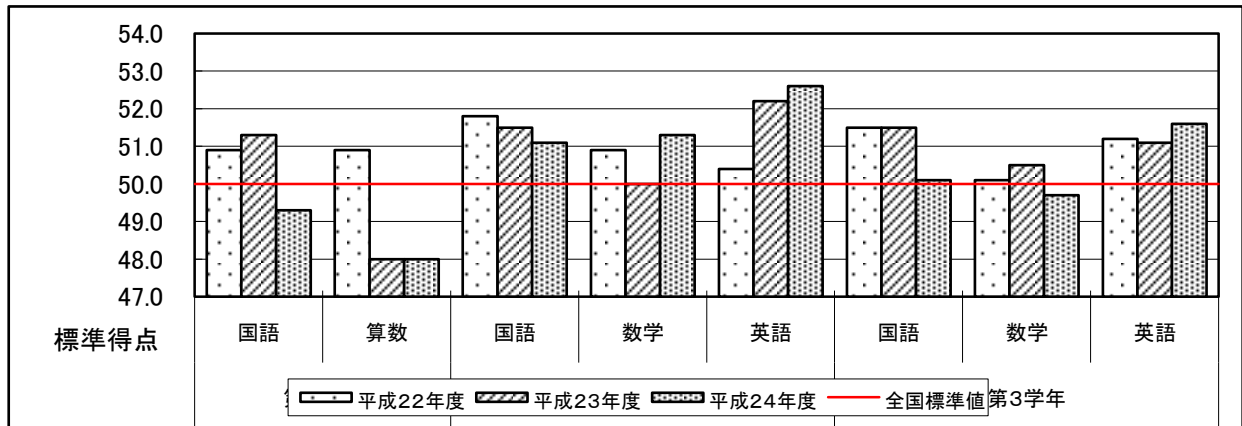
【同グループにおける比較】

- 昨年度との比較では、第6学年の国語と算数が上回っている。
- 3年間の経過を見ると、第6学年の国語と算数が伸びている。

【中学校】

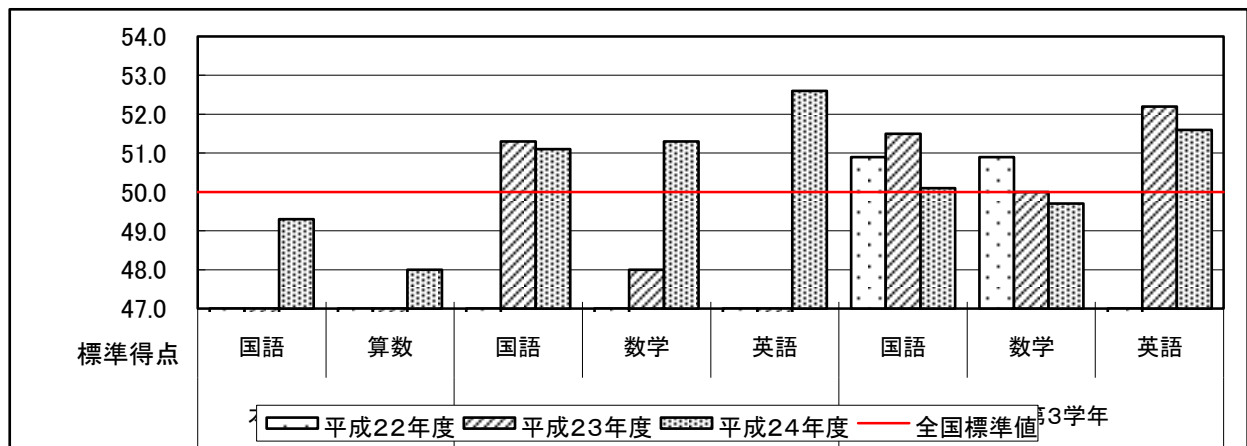
(1) 平成22年度～平成24年度の同学年における比較

	第1学年		第2学年			第3学年		
	国語	算数	国語	数学	英語	国語	数学	英語
平成24年度	49.3	48.0	51.1	51.3	52.6	50.1	49.7	51.6
平成23年度	51.3	48.0	51.5	50.0	52.2	51.5	50.5	51.1
平成22年度	50.9	50.9	51.8	50.9	50.4	51.5	50.1	51.2



(2) 平成22年度～平成24年度と同グループにおける比較

	本年度第1学年		本年度第2学年			本年度第3学年		
	国語	算数	国語	数学	英語	国語	数学	英語
平成24年度	49.3	48.0	51.1	51.3	52.6	50.1	49.7	51.6
平成23年度	*	*	51.3	48.0	*	51.5	50.0	52.2
平成22年度	*	*	*	*	*	50.9	50.9	*



(分析)

本年度は、すべての学年において、英語が全国標準値を上回っている。国語は第2学年・第3学年が、数学は第2学年が全国標準値を上回っている。

【同学年における比較】

- 昨年度との比較では、第2学年の数学、第2学年の英語、第3学年の英語が上回っている。
- 3年間の経過を見ると、第2学年の英語が伸びている。

【同グループにおける比較】

- 昨年度との比較では、第2学年の数学が伸びている。
- 3年間の経過を見ると、第3学年の数学が下降している。

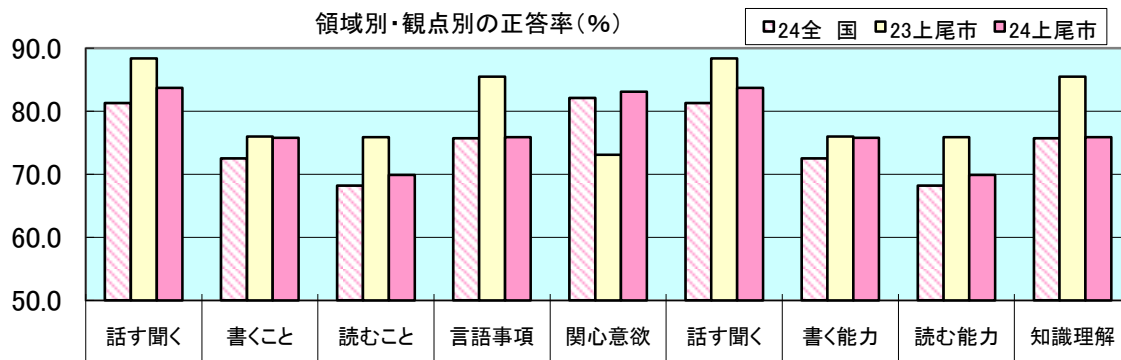
5 領域別・観点別調査結果の概要

- ※ 領域：学習指導要領に示されている各教科における指導内容の区分
- ※ 観点：観点別学習状況の評価の観点
- ※ 正答率：各領域・観点ごとの問題数に対する正答数の割合

【小学校】

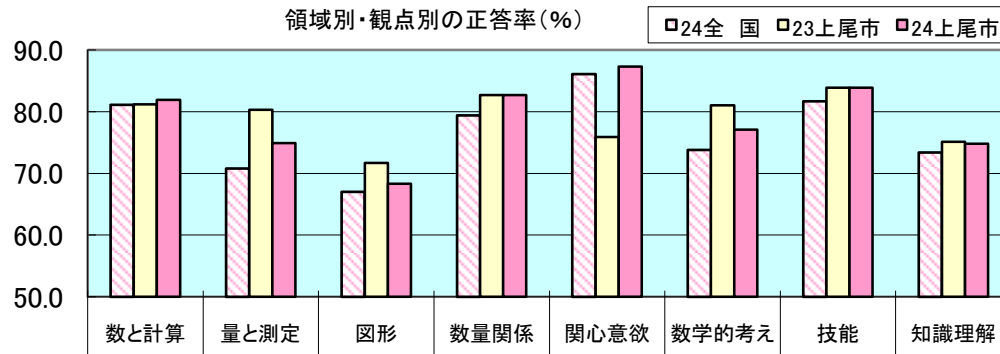
(1) 第3学年（第2学年の学習内容）

【国語】



	聞くこと	書くこと	読むこと	言語事項	関心意欲	聞く能力	書く能力	読む能力	知識理解
24上尾市	83.7	75.8	69.9	75.9	83.1	83.7	75.8	69.9	75.9
23上尾市	88.4	76.0	75.9	85.5	73.1	88.4	76.0	75.9	85.5
24全国	81.3	72.5	68.2	75.7	82.1	81.3	72.5	68.2	75.7

【算数】



	数と計算	量と測定	図形	数量関係	関心意欲	考え方	技能	知識理解
24上尾市	81.9	74.9	68.3	82.7	87.3	77.1	83.9	74.8
23上尾市	81.2	80.3	71.7	82.7	75.9	81.0	83.9	75.1
24全国	81.1	70.8	67.0	79.4	86.1	73.8	81.7	73.4

(分析)

【国語】

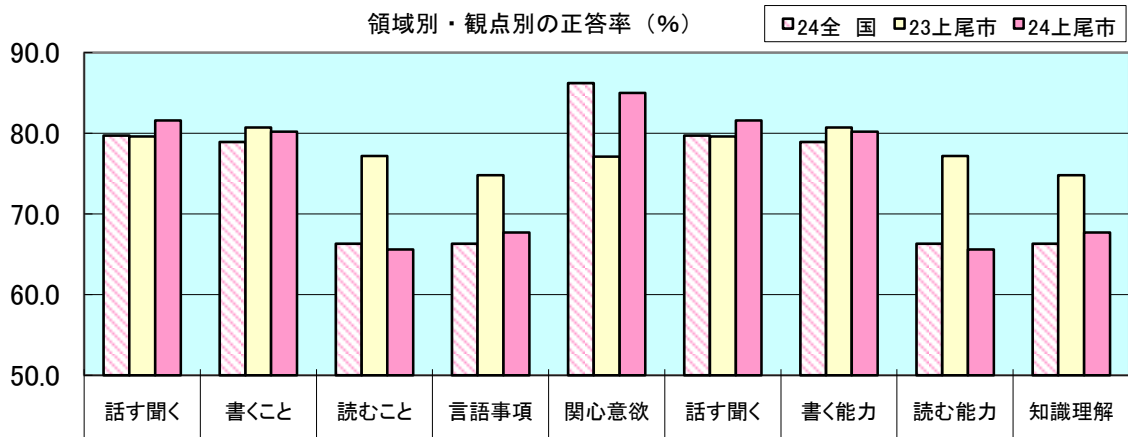
- すべての領域・観点で全国の正答率を上回っている。
- 観点別の「関心・意欲」で、昨年度の正答率を上回っている。
- 問題別では、主語や述語に関する問題、二つの言葉を組み合わせる一つの言葉にする問題、漢字の読み書き、読みとり問題が全国の正答率を下回り、課題がある。

【算数】

- すべての領域・観点で全国の正答率を上回っている。
- 領域別では「数と計算」、観点別では「関心・意欲」で、昨年度の正答率を上回っている。
- 問題別では、十進位取り記数法に関する問題、図を見てもとにする量の何倍かを答える問題、三角形と四角形に関する問題が全国の正答率を下回り、課題がある。

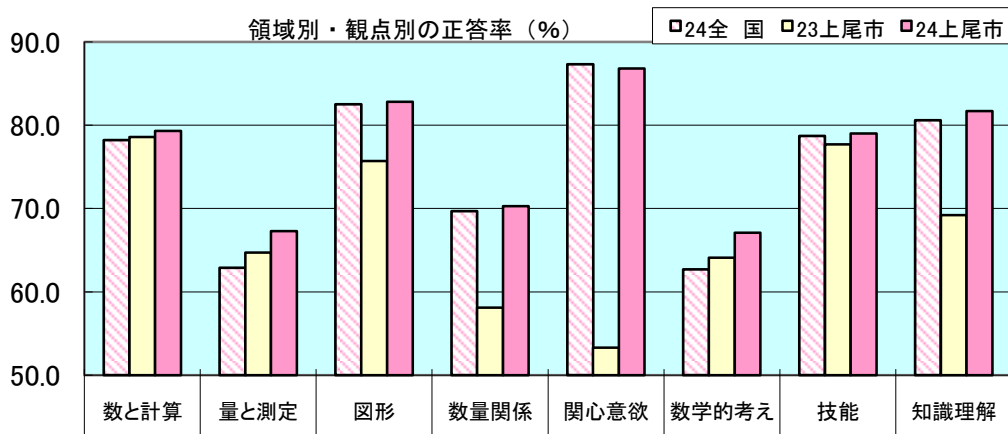
(2) 第4学年(第3学年の学習内容)

【国語】



	聞くこと	書くこと	読むこと	言語事項	関心意欲	聞く能力	書く能力	読む能力	知識理解
24上尾市	81.6	80.2	65.6	67.7	85.0	81.6	80.2	65.6	67.7
23上尾市	79.6	80.7	77.2	74.8	77.1	79.6	80.7	77.2	74.8
24全国	79.7	78.9	66.3	66.3	86.2	79.7	78.9	66.3	66.3

【算数】



	数と計算	量と測定	図形	数量関係	関心意欲	考え方	技能	知識理解
24上尾市	79.3	67.3	82.8	70.3	86.8	67.1	79.0	81.7
23上尾市	78.6	64.7	75.7	58.1	53.3	64.1	77.7	69.2
24全国	78.2	62.9	82.5	69.7	87.3	62.7	78.7	80.6

(分析)

【国語】

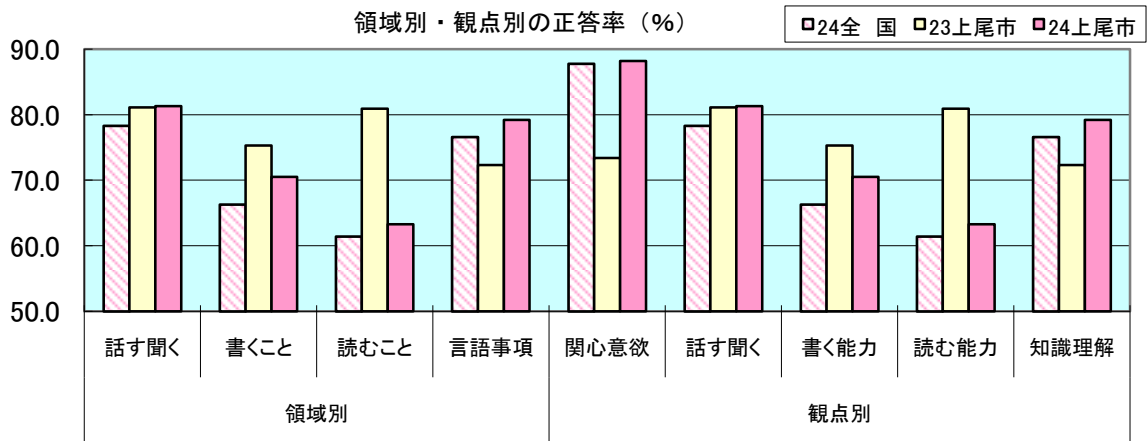
- 領域別では、「聞くこと」「書くこと」「言語事項」、観点別では「聞く能力」「書く能力」「知識・理解」で、全国の正答率を上回っている。
- 領域別の「書くこと」「読むこと」「言語事項」、観点別の「書く能力」「読む能力」「知識・理解」で、昨年度の正答率を下回っている。
- 問題別では、読みとり問題、敬語に関する問題、漢字やローマ字の読み書きが全国の正答率を下回り、課題がある。

【算数】

- 領域ではすべての領域、観点別では「考え方」「技能」「知識・理解」で、全国の正答率を上回っている。
- すべての領域・観点で、昨年度の正答率を上回っている。
- 問題別では、球の切り口に関する問題が全国の正答率を下回り、課題がある。

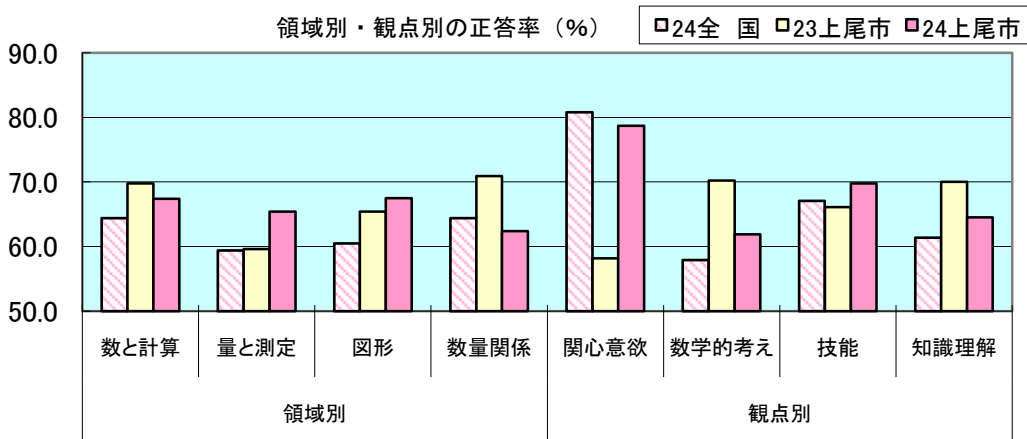
(3) 第5学年（第4学年の学習内容）

【国語】



	聞くこと	書くこと	読むこと	言語事項	関心意欲	聞く能力	書く能力	読む能力	知識理解
24上尾市	81.3	70.5	63.3	79.2	88.2	81.3	70.5	63.3	79.2
23上尾市	81.1	75.3	80.9	72.3	73.4	81.1	75.3	80.9	72.3
24全 国	78.3	66.3	61.4	76.6	87.8	78.3	66.3	61.4	76.6

【算数】



	数と計算	量と測定	図形	数量関係	関心意欲	考え方	技能	知識理解
24上尾市	67.4	65.4	67.5	62.4	78.7	61.9	69.8	64.5
23上尾市	69.8	59.6	65.4	70.9	58.2	70.2	66.1	70.0
24全 国	64.4	59.4	60.5	64.4	80.8	57.9	67.1	61.4

(分析)

【国語】

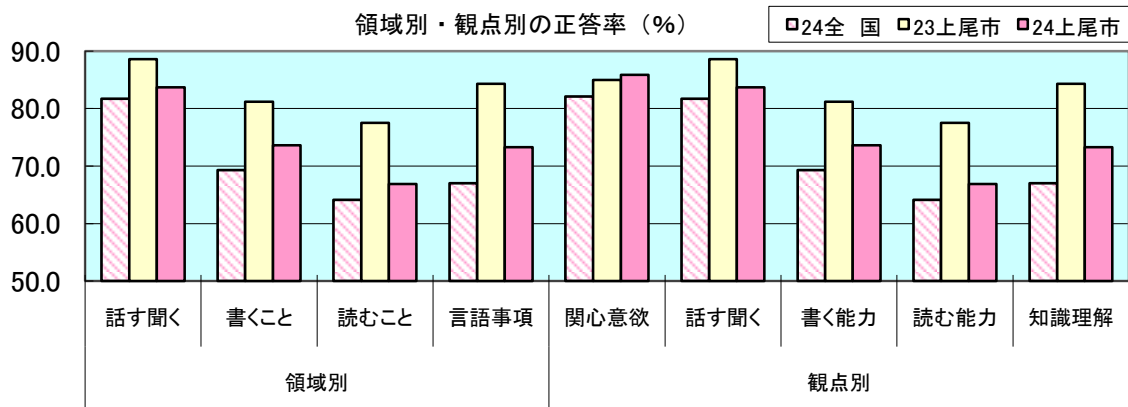
- すべての領域・観点で全国の正答率を上回っている。
- 領域別では「書くこと」「読むこと」、観点別では「書く能力」「読む能力」で、昨年度の正答率を下回っている。
- 問題別では、読みとり問題、漢字の書き問題、接続詞に関する問題が全国の正答率を下回り、課題がある。

【算数】

- 領域別では「数と計算」「量と測定」「図形」、観点別では「考え方」「技能」「知識・理解」で、全国の正答率を上回る。
- 領域別では「量と測定」「図形」、観点別では「関心・意欲」「技能」で、昨年度の正答率を上回っている。
- 問題別では、グラフを読み取る問題、計算のきまりを用いて□にあてはまる数を求める問題に課題がある。

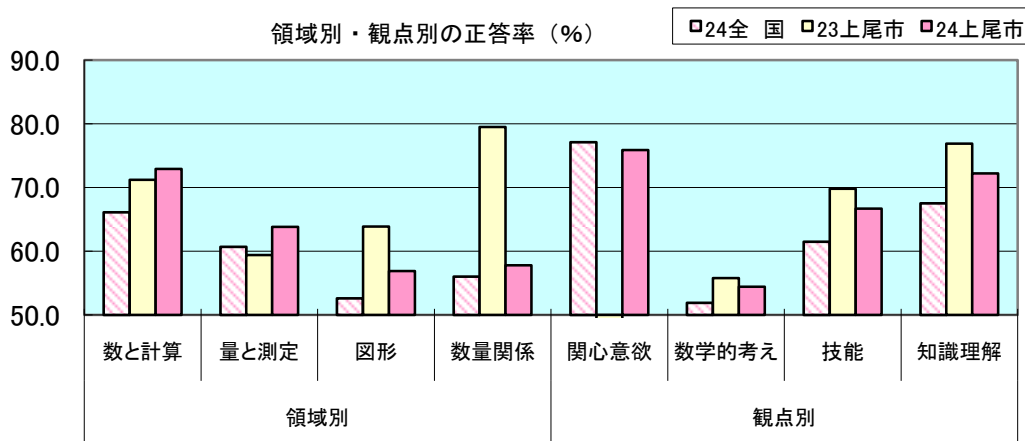
(4) 第6学年(第5学年の学習内容)

【国語】



	聞くこと	書くこと	読むこと	言語事項	関心意欲	聞く能力	書く能力	読む能力	知識理解
24上尾市	83.7	73.6	66.9	73.3	85.9	83.7	73.6	66.9	73.3
23上尾市	88.6	81.2	77.5	84.3	85.0	88.6	81.2	77.5	84.3
24全国	81.7	69.3	64.1	67.0	82.1	81.7	69.3	64.1	67.0

【算数】



	数と計算	量と測定	図形	数量関係	関心意欲	考え方	技能	知識理解
24上尾市	72.9	63.8	56.9	57.8	75.9	54.4	66.7	72.2
23上尾市	71.2	59.4	63.9	79.5	48.1	55.8	69.8	76.9
24全国	66.1	60.7	52.6	56.0	77.1	51.9	61.5	67.5

(分析)

【国語】

- すべての領域・観点で全国の正答率を上回っている。
- 観点別の「関心・意欲」で昨年度の正答率を上回っている。
- 問題別では、聞きとり問題が全国の正答率を下回り、課題がある。

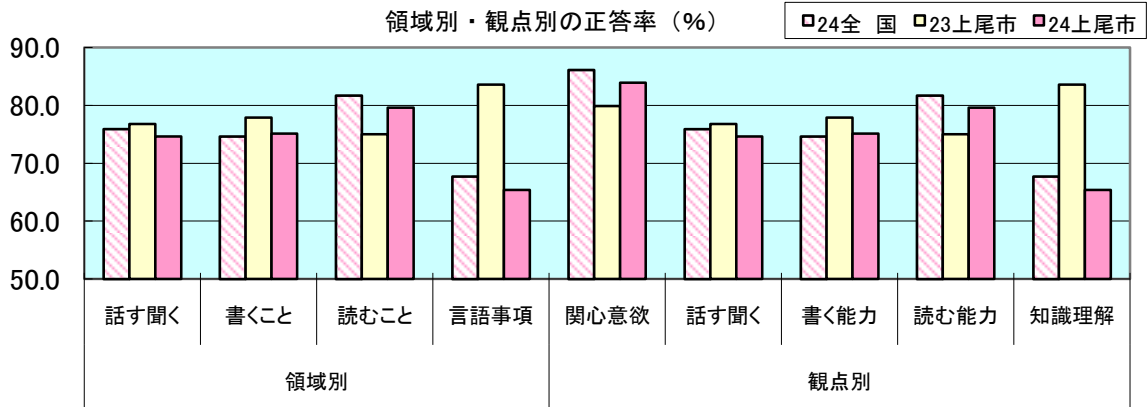
【算数】

- すべての領域、観点別の「考え方」「技能」「知識・理解」で全国の正答率を上回っている。
- 領域別の「数と計算」「量と測定」、観点別の「関心・意欲」で昨年度の正答率を上回っている。
- 問題別では、円周の長さから直径を求める問題が全国の正答率を下回り、課題がある。

【中学校】

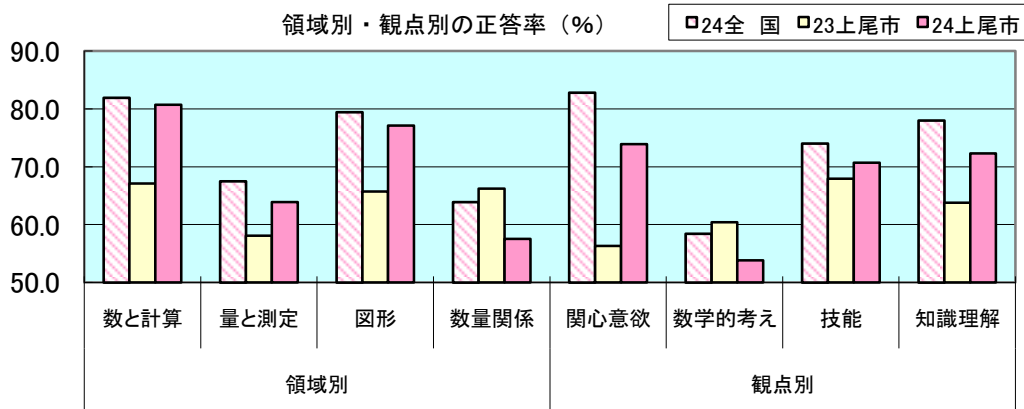
(1) 第1学年（小学校第6学年の学習内容）

【国語】



	聞くこと	書くこと	読むこと	言語事項	関心意欲	聞く能力	書く能力	読む能力	知識理解
24上尾市	74.6	75.1	79.6	65.4	83.9	74.6	75.1	79.6	65.4
23上尾市	76.8	77.9	75.0	83.6	79.9	76.8	77.9	75.0	83.6
24全国	75.9	74.6	81.7	67.7	86.1	75.9	74.6	81.7	67.7

【数学（算数）】



	数と計算	量と測定	図形	数量関係	関心意欲	考え方	技能	知識理解
24上尾市	80.7	63.9	77.1	57.5	73.9	53.8	70.7	72.3
23上尾市	67.1	58.1	65.7	66.2	56.3	60.4	67.9	63.8
24全国	81.9	67.5	79.4	63.9	82.8	58.4	74.0	78.0

(分析)

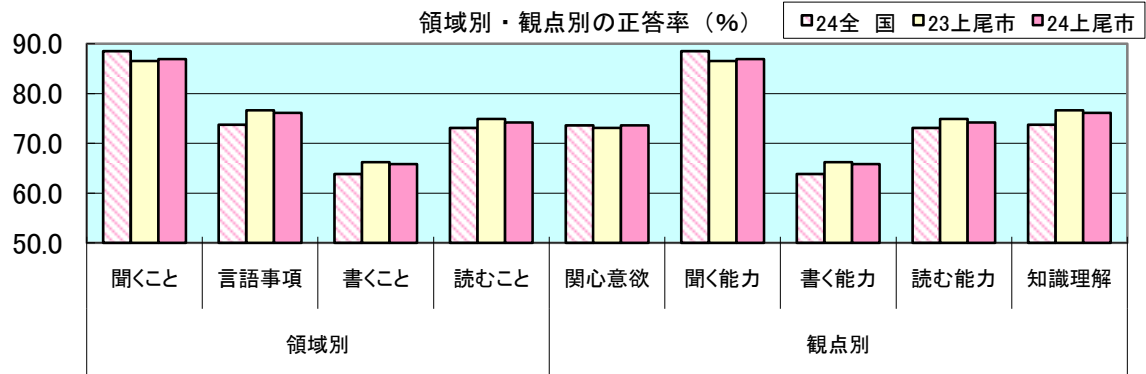
【国語】

- 領域別の「書くこと」、観点別の「書く能力」で全国の正答率を上回っている。
- すべての領域と、観点別では「聞く能力」「書く能力」「知識・理解」で、昨年度の正答率を下回っている。
- 問題別では、漢字の読み書き、読みとり問題、聞きとり問題、敬語の使い方に関する問題が全国の正答率を下回り、課題がある。

【数学（算数）】

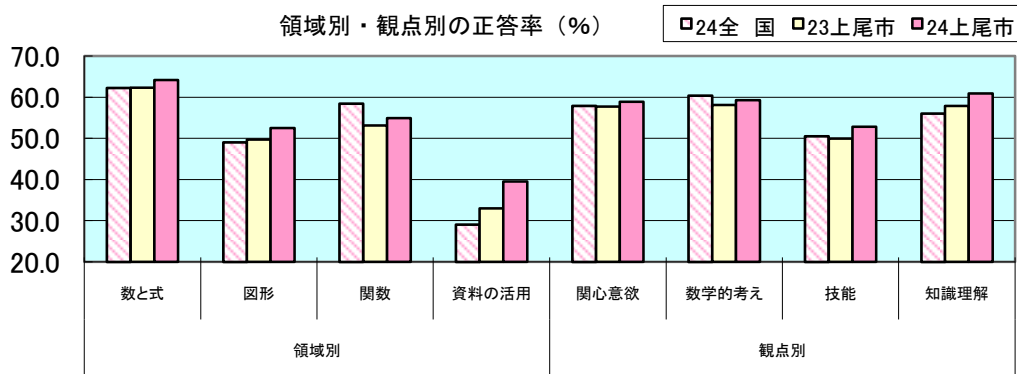
- すべての領域・観点で全国の正答率を下回っている。
- 領域別の「数と計算」「量と測定」「図形」、観点別の「関心・意欲」「表現・処理」「知識・理解」で、昨年度の正答率を上回っている。
- 問題別では、分数のかけ算、文章から分数÷分数を立式して答えを求める問題、速さに関する問題、円の面積や円の一部の面積を求める問題、台形の面積、拡大図・縮図に関する問題、ともなって変わる2つの量で対応するxとyを求める問題、比に関する問題、比例に関する問題、場合の数、比例・反比例の問題、資料の整理と読みに関する問題が全国の正答率を下回り、課題である。

【国語】



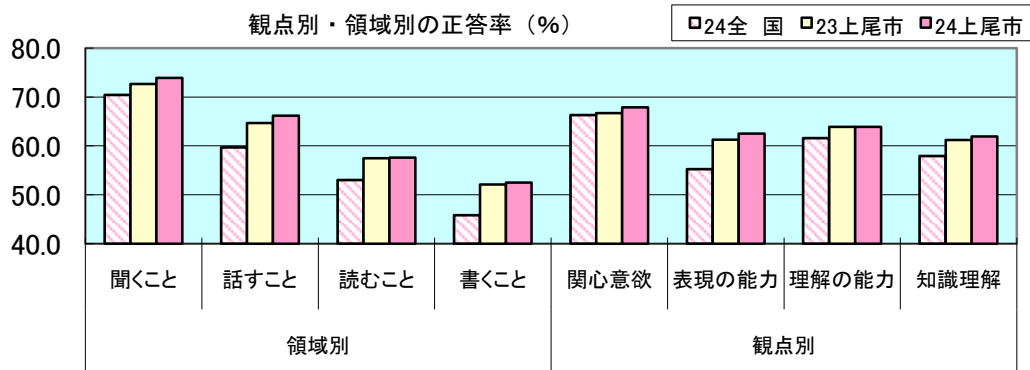
	聞くこと	言語事項	書くこと	読むこと	関心意欲	聞く能力	書く能力	読む能力	知識理解
24上尾市	86.9	76.1	65.8	74.2	73.6	86.9	65.8	74.2	76.1
23上尾市	86.5	76.6	66.2	74.9	73.1	86.5	66.2	74.9	76.6
24全 国	88.5	73.7	63.8	73.1	73.6	88.5	63.8	73.1	73.7

【数学】



	数と計算	図形	関数	資料の活用	関心意欲	考え方	技能	知識理解
24上尾市	64.2	52.5	54.9	39.5	58.9	59.3	52.8	60.9
23上尾市	62.3	49.7	53.1	33.0	57.7	58.1	49.9	57.9
24全 国	62.2	49.0	58.4	29.1	57.9	60.4	50.5	56.0

【英語】



	聞くこと	話すこと	読むこと	書くこと	関心意欲	表現	理解	知識理解
24上尾市	73.9	66.2	57.6	52.5	67.9	62.5	63.9	61.9
23上尾市	72.7	64.7	57.5	52.1	66.7	61.3	63.9	61.2
24全 国	70.4	59.7	53.0	45.8	66.3	55.2	61.6	57.9

【国語】

- 領域別の「言語事項」「書くこと」「読むこと」、観点別の「関心・意欲」「書く能力」「読む能力」「知識・理解」で、全国の正答率と同じか上回っている。
- 領域別では「言語事項」「書くこと」「読むこと」、観点別では「書く能力」「読む能力」「知識・理解」で、昨年度の正答率を下回っている。
- 問題別では、漢字の書き問題、読みとり問題、聞きとり問題が全国の正答率を下回り、課題がある。

【数学】

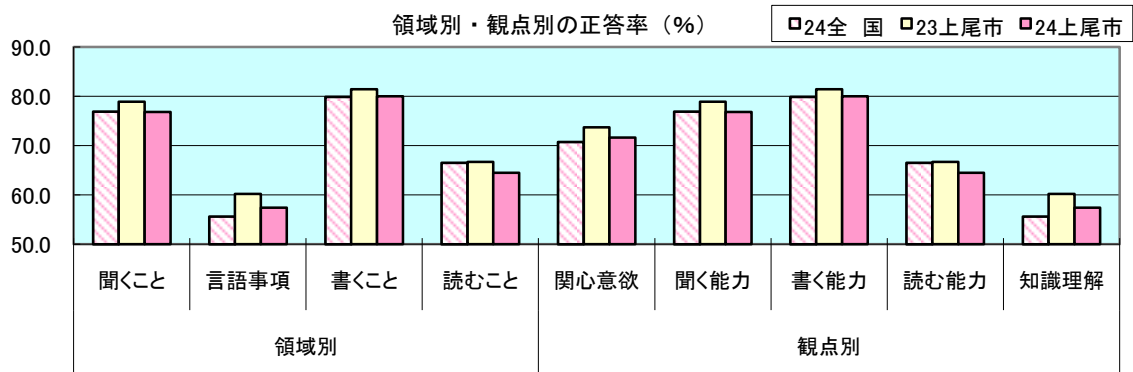
- 領域別の「数と計算」「図形」「資料の活用」、観点別の「関心・意欲」「技能」「知識・理解」が全国の正答率を上回っている。
- すべての領域・観点で昨年度の正答率を上回っている。
- 問題別では、分数を含む1次方程式の解き方に関する問題、おうぎ形の面積を求める問題、回転体（半球）の体積を求める問題、比例・反比例の式からグラフを選択する問題、関数についての問題が全国の正答率を下回り、課題がある。

【英語】

- すべての領域・観点で、全国の正答率を上回っている。
- すべての領域・観点においても、昨年度の正答率を上回っている。
- 問題別では、限定された会話の場面で用いられる表現を答える問題、英文の正しい意味を選ぶ問題が全国正答率を下回り、課題がある。

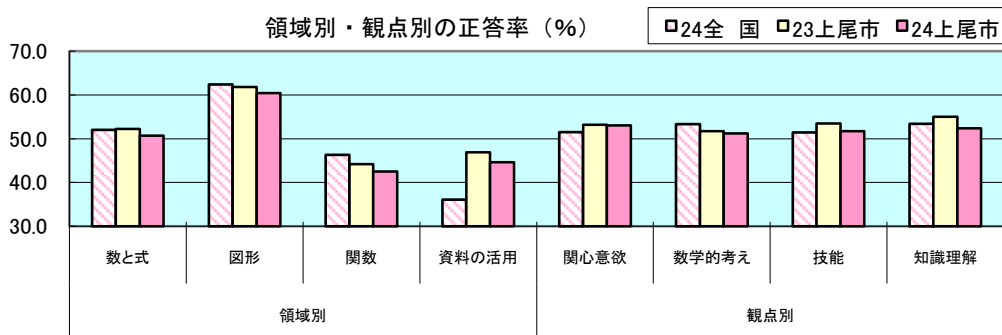
(3) 第3学年（第2学年の学習内容）

【国語】



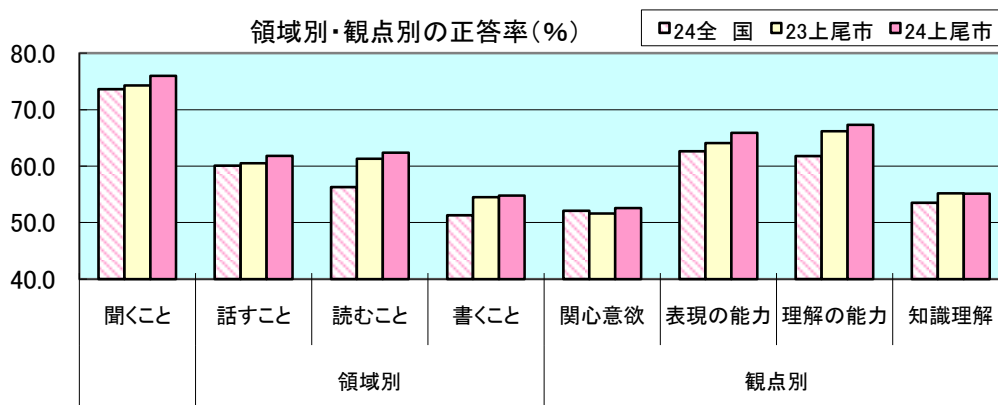
	聞くこと	言語事項	書くこと	読むこと	関心意欲	聞く能力	書く能力	読む能力	知識理解
24上尾市	76.8	57.4	80.0	64.5	71.6	76.8	80.0	64.5	57.4
23上尾市	78.9	60.2	81.4	66.7	73.7	78.9	81.4	66.7	60.2
24全 国	76.9	55.6	79.9	66.5	70.7	76.9	79.9	66.5	55.6

【数学】



	数と式	図形	関数	資料の活用	関心意欲	考え方	技能	知識理解
24上尾市	50.7	60.4	42.5	44.6	53.0	51.2	51.7	52.4
23上尾市	52.2	61.8	44.2	46.9	53.2	51.7	53.5	55.0
24全 国	52.0	62.4	46.3	36.1	51.5	53.3	51.4	53.4

【英語】



	聞くこと	話すこと	読むこと	書くこと	関心意欲	表現	理解	知識理解
24上尾市	76.0	61.8	62.4	54.8	52.6	65.9	67.3	55.1
23上尾市	74.3	60.5	61.3	54.5	51.6	64.1	66.2	55.2
24全 国	73.6	60.1	56.3	51.3	52.1	62.6	61.8	53.5

(分析)

【国語】

- 領域別では「言語事項」「書くこと」、観点別では「関心・意欲」「書く能力」「知識・理解」で、全国の正答率を上回っている。
- すべての領域・観点で昨年度の正答率を下回っている。
- 問題別では、物語文や古典の読みとり問題、漢字の書き問題が全国の正答率を下回り、課題がある。

【数学】

- 領域別の「資料の活用」、観点別の「関心・意欲」「技能」で、全国の正答率を上回っている。
- すべての領域・観点で、昨年度の正答率を下回っている。
- 問題別では、代入法による連立方程式を解く問題、文章を読み取り連立方程式を立てて解く問題、合同な三角形に関する問題、角度を求める問題、平行四辺形の性質に関する問題、多角形の内角や外角を求める問題、四角形の定義や定理に関する問題、方程式のグラフや連立方程式のグラフの交点に関する問題、一次関数の式から変化の割合を求める問題、グラフの式を求める問題、2つの直線の交点を求める問題が全国の正答率を下回り、課題がある。

【英語】

- 観点別の「関心・意欲」を除くすべての領域・観点で、全国の正答率を上回っている。
- 「知識・理解」を除くすべての全ての領域・観点で昨年度の正答率を上回っている。
- 問題別では、英文の中で最も強く発音する語、質問に対して適切に応答する問題、ほぼ同じ内容の英文を完成する問題等の一部が全国の正答率を下回り、課題がある。

6 各教科の課題と改善の視点

【小学校】

(1) 国語

第4学年以外、全国の正答率を上回る状況である。しかし、「書くこと」「読むこと」に課題があることから、以下に重点を置いて指導にあたる。

ア 2学年間の目標・内容の系統性を明確にし、見通しと振り返りのある授業を展開し、基礎的・基本的な知識・技能の定着を図る指導方法を工夫する。

イ 日常生活で活用できる言語能力の定着を図るとともに、自ら学び、課題を解決していく能力の育成を図る。

ウ 個に応じた教材の開発や学習形態・学習方法の工夫に努め、児童の実態に応じた学習活動を展開する。

エ 児童の学習状況を多面的・総合的にとらえ、学習活動に即した評価規準を設定し、次の学習に生かす評価方法を工夫する。

オ 学習に関する情報収集や情報発信の手段としてICTの活用を図る。

(2) 算数

全体的には昨年同様、全国の正答率を上回る状況であるが、観点別の「関心・意欲」に課題がある。基礎的・基本的な内容を確実に身に付けさせ、数学的な考え方を育てるため、以下に重点を置いて指導にあたる。

ア 児童が学習内容をよく理解し、納得し、実感し、興味・関心をもって取り組めるよう、算数的活動の一層の充実、多様な考えが生かせる問題や場面の工夫、ICTの積極的な活用を図る。

イ 身に付けた知識や技能を活用するための思考力・表現力を育成し、算数のよさが実感を伴って味わえるような指導方法の工夫・改善を図る。

ウ 観点別学習状況の評価規準や評価方法を明確にして指導と評価の計画を作成し、児童一人一人に応じた指導の手立てや支援を工夫する。

エ 児童の多様な考え方や表現に表れる数理的な処理のよさを生かし、児童相互による比較検討を充実させ、よりよい考え方や結果を追究する過程を重視した学習活動を展開する。

オ 繰り返し指導を行い、習熟を図る。

カ 移行された内容について、確実に定着を図る。

【中学校】

(1) 国語

全体的には、全国の正答率をやや下回る状況である。特に、「書くこと」「読むこと」「言語事項」に課題があることから、以下に重点を置いて指導にあたる。

ア 教師の説明を中心とした授業から、教えるべきことを教えた上で、生徒の学び合いを通して言語活動を重視する授業へと展開を図り、指導事項を指導する。

イ 具体的な評価規準と評価方法を設定し、適切な手立てを講じ、生徒一人一人の学習状況に応じた支援を工夫する。

ウ 思考力や判断力、表現力の育成を目指し、「書くこと」と「読むこと」や「話すこと・聞くこと」を関連させ、日常生活に活用する事例やさまざまな文章、資料を意図的・計画的に取り上げ、一人一人の学習意欲を高める。

エ 発達の段階に応じた良書にふれさせることで、読書に親しむ態度を育成するとともに、豊かな創造力や表現力、語彙力を育てる。

オ 学習に関する情報収集や情報発信の手段としてICTの活用を図る。

(2) 数学

1年生と3年生は、全国の正答率よりやや下回る状況である。2年生は、全国の正答率を上回っている。領域別では全学年で「数量関係」に課題があり、3年生では「数と計算」「図形」にも課題がある。観点別では全学年で「数学的な考え方」に課題がある。そのため、以下に重点を置いて指導にあたる。

ア 生徒が目的意識をもって取り組む数学的活動を重視し、生徒が主体的に学習できるようにする。

イ 生徒の習熟の程度を把握し、補充的な学習や発展的な学習などの指導方法の工夫改善を図るとともに、繰り返し指導を行うことによって習熟を図り、学ぶことの楽しさと充実感のある学習展開を工夫する。

ウ 教材研究の充実を図り、教材のもつ意味や価値、系統性や発展性、他の内容や教科との関連、基礎・基本などを明確にする。

エ 観点別評価規準を明確にし、適切な評価方法を設定し、指導と評価の計画を作成・活用し、生徒一人一人の学習状況に応じた支援を行う。

オ 生徒が学習内容をよく理解し、納得し、実感できるように、多様な考えが生かせる問題や場面の工夫、発問や指示の工夫、ICTの積極的な活用を図るとともに、わかる授業を展開する。

(3) 英語

全体的には、全国の正答率を上回る状況である。しかし、英文の正しい意味の読み取り、質問に対して適切に応答する問題で課題が見られることから、以下に重点を置いて指導にあたる。

ア 学習の目標や指導内容を明確にし、指導過程や学習形態を工夫するとともに、個に応じた指導などきめ細かな指導の充実を図る。

イ 外国語指導助手(ALT)や地域人材などの協力を得たり、ICT機器の積極的活用を図った指導を展開する。

ウ 具体的な評価規準や評価方法を設定し、評価を重視した指導と評価の計画を作成し、生徒一人一人の学習状況に応じた支援を工夫する。

エ 実際に言語を使用して互いの気持ちや考えを伝え合う活動を充実させ、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成に努める。

オ 言語の使用場面や言語の働きに配慮し、生徒が主体的に生き生きと授業に取り組めるよう、言語活動の充実を踏まえた学習展開や学習活動の工夫を図る。

6 質問紙調査結果の概要

【小学校第6学年】 ※ 総合は、国語と算数の問題数の合計から求めた正答率である。

(1) 学校に来る前に、きちんと朝ごはんを食べてきますか。

朝食の 摂取状況	1 食べてくる	2 食べてくる ほうが多い	3 食べてこない ほうが多い	4 食べてこ ない	無答もしくは 重答
	94.8%	3.4%	1.7%	0.1%	0.0%

朝食と正答率の関係

	1 食べてくる	2 食べてくる ほうが多い	3 食べてこない ほうが多い	4 食べてこ ない	市全体	全 国
総 合	70.0	57.9	50.3	48.0	69.2	64.8
国 語	73.6	64.5	56.8	58.7	73.0	68.9
算 数	66.3	51.4	43.8	37.3	65.4	60.7

(分析)

多くの児童が、学校に来る前に朝食を必ずとっている。「朝食を必ず食べてくる」と答えた児童の正答率だけが、市及び全国の正答率を上回っている。

(2) 早寝、早起きを心がけていますか。

起床・就 寝の状況	1 いつも心 がけている	2 だいたい心 がけている	3 あまり心 がけていない	4 心がけて いない	無答もしくは 重答
	29.9%	56.1%	11.8%	2.1%	0.1%

早寝、早起きと正答率の関係

	1 いつも心 がけている	2 だいたい心 がけている	3 あまり心 がけていない	4 心がけて いない	市全体	全 国
総 合	69.2	69.7	68.8	58.6	69.2	64.8
国 語	72.6	73.6	72.7	64.5	73.0	68.9
算 数	65.8	65.8	64.8	52.7	65.4	60.7

(分析)

「だいたい心がけている」を含めて、多くの児童が早寝、早起きを心がけており、市及び全国の正答率を上回っている。あまり心がけていないを含めて、心がけていない児童の正答率は市の正答率を下回っている。

(3) 一日の睡眠時間はどれくらいですか。(土曜、日曜日は除く)

睡眠時間	1 10時間以上	2 9～10時間	3 8～9時間	4 7～8時間	5 6～7時間	6 6時間未満	無答もしくは重答
	1.1%	4.0%	13.8%	42.3%	34.3%	4.4%	0.0%

睡眠時間と正答率の関係

	1 6時間より少ない	2 6～7時間	3 7～8時間	4 8～9時間	5 9～10時間	6 10時間以上	市全体	全国
総合	55.8	63.0	68.4	70.5	69.9	64.2	69.2	64.8
国語	64.8	69.1	73.0	74.1	73.0	69.8	73.0	68.9
算数	46.9	56.9	63.8	66.9	66.8	58.5	65.4	60.7

(分析)

平均睡眠時間は7～8時間が最も多く、6～8時間の睡眠をとっている児童が全体の75%を上回っている。国語、算数ともに平均睡眠時間が8～9時間の児童の正答率が最も高く、市の正答率を上回っている。

(4) 身の回りのこと(整理・整頓など)は、自分でしていますか。

整理整頓	1 ほとんどしている	2 しているほうが多い	3 していないほうが多い	4 していない	無答もしくは重答
	46.1%	39.9%	12.8%	0.9%	0.3%

整理整頓と正答率の関係

	1 自分でしている	2 どちらかといえば自分でしているほうが多い	3 どちらかといえば自分でしていないほうが多い	4 自分でしていない	市全体	全国
総合	70.3	69.6	64.9	61.8	69.2	64.8
国語	74.4	73.1	68.8	65.6	73.0	68.9
算数	66.2	66.2	61.0	58.1	65.4	60.7

(分析)

「しているほうが多い」を含め、身の回りのことを自分でしていると答えた児童が全体の85%以上となっており、身の回りの整理・整頓はおおむね自分でやっている現状である。整理・整頓をしている児童の正答率は、市及び全国の正答率を上回っている。「自分でしていない」と答えた児童は、市及び全国の正答率を下回っている。

(5) 先生や友だち、近所の人に会った時、あいさつをしていますか。

あいさつ	1 あいさつをしている	2 しているほうが多い	3 していないほうが多い	4 あいさつをしていない	無答もしくは重答
	54.8%	37.7%	7.1%	0.4%	0.0%

あいさつと正答率の関係

	1 あいさつをしている	2 しているほうが多い	3 していないほうが多い	4 あいさつをしていない	市全体	全国
総合	69.6	69.3	66.4	64.1	69.2	64.8
国語	73.2	73.2	71.2	67.3	73.0	68.9
算数	65.9	65.4	61.6	61.0	65.4	60.7

(分析)

「しているほうが多い」を含め、あいさつをしていると答えた児童が90%以上であり、多くの児童があいさつをしている。「しているほうが多い」を含めて、あいさつをしている児童は、市及び全国の正答率と等しいか上回っている。一方、「していないほうが多い」を含め、あいさつをしていない児童は、市の正答率を下回っている。

(6) 相手や場面に応じて、言葉づかいに気をつけていますか。

ていねいな言葉づかい	1 気をつけている	2 いるほうが多い	3 いないほうが多い	4 気をつけていない	無答もしくは重答
	50.4%	41.1%	7.8%	0.7%	

言葉づかいと正答率の関係

	1 気をつけている	2 いるほうが多い	3 いないほうが多い	4 気をつけていない	市全体	全 国
総 合	71.4	68.0	63.5	51.8	69.2	64.8
国 語	75.4	71.6	66.9	56.3	73.0	68.9
算 数	67.4	64.3	59.9	47.3	65.4	60.7

(分析)

「気をつけているほうが多い」を含め、気をつけていると答えた児童は90%以上となっており、多くの児童が言葉づかいに気をつけている。言葉づかいに気をつけている児童の正答率のみが、市の正答率を上回っている。逆に「気をつけていないほうが多い」を含めて、気をつけていない児童の正答率は、市及び全国の正答率を下回っている。

(7) 学校のものや公共物を大切にしていますか。

ものの扱い方	1 大切にしている	2 しているほうが多い	3 していないほうが多い	4 していない	無答もしくは重答
	74.9%	24.1%	1.0%	0.0%	

ものの扱い方と正答率の関係

	1 大切にしている	2 しているほうが多い	3 していないほうが多い	4 していない	市全体	全 国
総 合	70.3	66.3	58.6	84.0	69.2	64.8
国 語	74.0	70.6	62.5	94.0	73.0	68.9
算 数	66.6	62.1	54.8	74.0	65.4	60.7

(分析)

「大切にしていることのほうが多い」を含め、大切にしていると答えた児童は約99%となっており、ほぼ全員の児童が学校のものや公共物を大切にしている。昨年度同様、大切にしていると答えた児童の正答率は、市及び全国の正答率を上回っており、逆に「大切にしていないほうが多い」を含め、大切にしないと答えた児童の正答率は市及び全国の正答率を下回っている。

(8) 学校のきまりを守って生活していますか。

きまりを守る	1 守っている	2 しているほうが多い	3 していないほうが多い	4 守れていない	無答もしくは重答
	39.3%	54.5%	5.7%	0.3%	

学校のきまりと正答率の関係

	1 守っている	2 守っているほうが多い	3 守っていないほうが多い	4 守れていない	市全体	全国
総合	69.5	69.6	64.2	49.7	69.2	64.8
国語	73.6	73.2	68.6	53.7	73.0	68.9
算数	65.4	66.1	59.8	45.7	65.4	60.7

(分析)

「守っているほうが多い」を含め、学校のきまりを守って生活していると答えた児童は約94%となっており、ほとんどの児童が学校のきまりを守って生活している。

「守っていないほうが多い」を含め、守れていない児童の正答率は、市及び全国の正答率を下回っている。

(9) 普段ものごとを最後までやり遂げようとしていますか。

やり遂げる	1 している	2 しているほうが多い	3 していないほうが多い	4 していない	無答もしくは重答
	44.0%	47.6%	7.1%	0.4%	

ものごとをやり遂げることと正答率の関係

	1 している	2 どちらかといえばやり遂げようとしている	3 どちらかといえばやり遂げようとしていない	4 していない	市全体	全国
総合	72.2	68.4	58.1	48.6	69.2	64.8
国語	75.3	72.5	64.7	54.8	73.0	68.9
算数	69.1	64.3	51.6	42.5	65.4	60.7

(分析)

「ものごとを最後までやり遂げようとしている」「やり遂げようとしているほうが多い」と答えた児童は約90%を上回っており、多くの児童がものごとを最後までやり遂げようとしている。「していないほうが多い」を含めて、やり遂げようとしていない児童の正答率は、市及び全国の正答率を下回っている。

(10) 学校の授業時間以外に、普段(月～金曜)1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか。(学習塾や家庭教師を含む)

勉強時間	1 3時間以上	2 2～3時間	3 1～2時間	4 30分～1時間	5 30分より少ない	6 まったくしない	無答もしくは重答
	7.4%	14.4%	39.6%	29.0%	7.4%	2.0%	

勉強時間と正答率の関係

	1 3時間以上	2 2～3時間	3 1～2時間	4 30分～1時間	5 30分より少ない	6 まったくしない	市全体	全国
総合	76.5	70.4	70.4	68.0	61.6	58.2	69.2	64.8
国語	77.8	73.9	73.8	72.6	67.2	63.0	73.0	68.9
算数	75.0	67.0	67.0	63.4	56.1	53.7	65.4	60.7

(分析)

学校の授業時間以外に1日あたり1～2時間勉強をしている児童が最も多く、1時間以上勉強している児童は、60%を上回っている。少なくとも1時間以上勉強している児童の正答率は、市及び全国の正答率を上回っている。また、1時間より少ない児童の正答率は、市の正答率を下回っている。

(11) 学校の授業で黒板に書いてあることや、先生の説明をノートに書いていますか。

書くこと	1 きちんと書いている	2 書いているほうが多い	3 書いていないほうが多い	4 書いていない	無答もしくは重答
	67.8%	27.9%	3.5%	0.3%	0.6%

ノートに書くことと正答率の関係

	1 きちんと書いている	2 書いているほうが多い	3 書いていないほうが多い	4 書いていない	市全体	全国
総合	71.4	65.6	57.4	59.5	69.2	64.8
国語	75.0	69.6	62.4	66.7	73.0	68.9
算数	67.7	61.6	52.3	52.3	65.4	60.7

(分析)

「書いているほうが多い」を含め、書いていると答えた児童は95%以上となっている。「きちんと書いている」と答えた児童の正答率は、市及び全国の正答率を上回っている。逆に、「書いていないほうが多い」を含めて、書いていない児童の正答率は市及び全国の正答率を下回っている。

(12) 授業中に発言をしますか。

発言する	1 よく発言する	2 ときどき発言する	3 ほとんど発言しない	4 まったく発言しない	無答もしくは重答
	18.9%	51.2%	24.7%	4.8%	0.4%

授業中の発言と正答率の関係

	1 よく発言する	2 ときどき発言する	3 ほとんど発言しない	4 まったく発言しない	市全体	全国
総合	77.5	69.7	63.9	59.2	69.2	64.8
国語	79.2	73.0	69.9	65.7	73.0	68.9
算数	75.8	66.4	57.9	52.7	65.4	60.7

(分析)

「ときどき発言する」と答えた児童がもっとも多く、児童全体の50%を上回っている。「ときどき発言する」を含め、発言すると答えた児童の正答率は、市及び全国の正答率を上回っており、「ほとんど発言しない」を含め、発言しないと答えた児童の正答率は、市及び全国の正答率を下回っている。

(13) 携帯電話で通話やメールをしていますか。

携帯電話	1 ほぼ毎日している	2 ときどきしている	3 まったく、または、ほとんどしていない	4 携帯電話を持っていない	無答もしくは重答
	9.8%	17.2%	6.7%	66.0%	

携帯電話の使用と正答率の関係

	1 ほぼ毎日している	2 ときどきしている	3 まったく、または、ほとんどしていない	4 携帯電話を持っていない	市全体	全国
総合	66.0	67.1	70.2	70.2	69.2	64.8
国語	71.4	71.9	73.1	73.6	73.0	68.9
算数	60.6	62.4	67.3	66.8	65.4	60.7

(分析)

「携帯電話を持っていない」と答えた児童が最も多く、児童全体の約66%となっており、昨年度の約70%より減少している。「ときどきしている」を含め、していると答えた児童が昨年度より増えている。「携帯電話を持っていない」と答えた児童の正答率は、市及び全国の正答率を上回っている。

(14) 読書は好きですか。

読書	1 好き	2 どちらかといえば好き	3 どちらかといえば好きではない	4 好きではない	無答もしくは重答
	40.3%	34.2%	17.6%	6.8%	

読書と正答率の関係

	1 好き	2 どちらかといえば好き	3 どちらかといえば好きではない	4 好きではない	市全体	全国
総合	73.2	67.0	67.0	63.5	69.2	64.8
国語	78.0	70.7	69.3	65.7	73.0	68.9
算数	68.4	63.4	64.7	61.3	65.4	60.7

(分析)

「どちらかといえば好き」を含め、好きと答えた児童は、昨年度を上回り、約75%となっている。「好き」と答えた児童の正答率は、市及び全国の正答率を上回っているが、それ以外の児童の正答率は市の正答率を下回っている。

(15) 家や学校、図書館で普段(月～金曜)、1日あたりどれくらいの時間、読書しますか。(教科書や参考書、漫画、雑誌は除く)

読書時間	1 2時間以上	2 1～2時間	3 30分～1時間	4 15分～30分	5 15分より少ない	6 まったくしない	無答もしくは重答
	5.3%	12.7%	28.4%	23.5%	16.6%	13.4%	

読書時間と正答率の関係

	1 2時間以上	2 1～2時間	3 30分～1時間	4 15分～30分	5 15分より少ない	6 まったくしない	市全体	全国
総合	69.5	71.7	69.9	69.5	67.8	66.6	69.2	64.8
国語	75.8	76.5	74.3	72.8	70.7	69.3	73.0	68.9
算数	63.2	66.8	65.6	66.2	64.9	63.9	65.4	60.7

(分析)

家や学校、図書館で1日あたり30分～1時間の読書をしている児童が最も多く、児童全体の約28%となっている。30分以上の読書をしている児童の正答率は、市及び全国の正答率を上回っている。

(16) 学校は好きですか。

学校好き	1 好き	2 どちらかといえば好き	3 どちらかといえば好きではない	4 好きではない	無答もしくは重答
	48.8%	38.3%	9.7%	3.2%	0.0%

学校好きと正答率の関係

	1 好き	2 どちらかといえば好き	3 どちらかといえば好きではない	4 好きではない	市全体	全国
総合	71.1	68.7	65.2	60.0	69.2	64.8
国語	74.6	72.4	69.6	66.2	73.0	68.9
算数	67.6	64.8	60.8	53.8	65.4	60.7

(分析)

「どちらかといえば好き」を含め、好きと答えた児童は、児童全体の85%を上回っている。「好き」と答えた児童の正答率は、市及び全国の正答率を上回っているが、それ以外の児童の正答率は市の正答率を下回っている。

(17) 勉強は好きですか。

勉強好き	1 好き	2 どちらかといえば好き	3 どちらかといえば好きではない	4 好きではない	無答もしくは重答
	21.0%	44.5%	26.7%	7.8%	0.0%

勉強好きと正答率の関係

	1 好き	2 どちらかといえば好き	3 どちらかといえば好きではない	4 好きではない	市全体	全国
総合	76.4	70.0	64.9	60.4	69.2	64.8
国語	78.2	73.6	70.1	65.9	73.0	68.9
算数	74.7	66.4	59.6	54.8	65.4	60.7

(分析)

「どちらかといえば好き」を含め、好きと答えた児童は、児童全体の約65%となっている。「好き」「どちらかといえば好き」と答えた児童の正答率は、市及び全国の正答率を上回っている。

【中学校第3学年】 ※総合は、国語と算数・数学の問題数の合計から求めた正答率である

(1) 学校に来る前に、きちんと朝ごはんを食べてきますか。

朝食の 摂取状況	1 食べてくる	2 食べてくる ほうが多い	3 食べてこ ないほうが多 い	4 食べてこ ない	無答もしくは 重答
	90.3%	5.3%	3.4%	1.0%	0.0%

朝食と正答率の関係

	1 食べてくる	2 食べてくる ほうが多い	3 食べてこ ないほうが多 い	4 食べてこ ない	市全体	全 国
総 合	61.9	54.5	45.8	52.9	60.9	59.9
国 語	68.2	62.9	55.2	54.0	67.3	67.3
数 学	52.8	44.4	35.7	49.0	51.7	52.4
英 語	64.7	56.3	46.4	55.6	63.5	60.0

(分析)

「食べてくる」「食べてくるほうが多い」と答えた生徒は約95%となっており、多くの生徒が、学校に来る前に朝食をとっている。「朝ごはんを食べてくる」と回答した生徒の正答率だけが市及び全国の正答率を上回っている。

(2) 早寝、早起きを心がけていますか。

起床・就 寝の状況	1 いつも心 がけている	2 だいたい心 がけている	3 あまり心 がけていない	4 心がけて いない	無答もしくは 重答
	12.6%	43.6%	34.2%	9.6%	0.1%

早寝、早起きと正答率の関係

	1 いつも心 がけている	2 だいたい心 がけている	3 あまり心 がけていない	4 心がけて いない	市全体	全 国
総 合	58.0	62.0	61.5	57.3	61.8	59.9
国 語	64.8	68.5	67.9	63.6	69.5	67.3
数 学	49.1	52.8	52.0	49.3	53.3	52.4
英 語	60.3	64.7	64.6	58.6	62.4	60.0

(分析)

「早寝、早起きをだいたい心がけている」と答えが生徒が最も多くなっている。その正答率は、全国の正答率を上回っている。心がけていない生徒の正答率が、全国の正答率を下回っている。

(3) 一日の睡眠時間はどれくらいですか。(土曜、日曜日は除く)

睡眠時間	1 6時間未満	2 6～7時間	3 7～8時間	4 8～9時間	5 9～10時間	6 10時間以上	無答もしくは重答
	9.8%	32.6%	39.1%	14.9%	3.2%	0.4%	0.1%

睡眠時間と正答率の関係

	1 6時間未満	2 6～7時間	3 7～8時間	4 8～9時間	5 9～10時間	6 10時間以上	市全体	全国
総合	61.3	62.8	62.7	55.0	49.1	34.6	60.9	59.9
国語	67.1	69.0	68.7	62.9	58.4	49.5	67.3	67.3
数学	52.1	53.8	53.5	45.8	40.0	22.8	51.7	52.4
英語	64.5	65.8	65.7	56.5	48.6	31.5	63.5	60.0

(分析)

一日の平均睡眠時間は7～8時間が最も多く、7～9時間の睡眠をとる生徒の割合が昨年度を上回っている。また、平均睡眠時間が6～7時間の生徒の正答率が最も高く、6時間～8時間の睡眠をとっている生徒の正答率が、市及び全国の正答率を上回っている。

(4) 身の回りのこと(整理・整頓など)は、自分でしていますか。

整理整頓	1 自分でしている	2 しているほうが多い	3 していないほうが多い	4 していない	無答もしくは重答
	41.9%	43.2%	13.0%	1.8%	0.1%

整理整頓と正答率の関係

	1 自分でしている	2 しているほうが多い	3 していないほうが多い	4 していない	市全体	全国
総合	61.7	61.6	57.5	51.6	60.9	59.9
国語	68.0	68.1	64.0	59.1	67.3	67.3
数学	51.9	52.4	49.8	44.5	51.7	52.4
英語	65.0	64.2	58.6	51.0	63.5	60.0

(分析)

「しているほうが多い」を含め、身の回りのこと(整理・整頓など)を自分でしていると答えた生徒が約85%となっており、多くの生徒が身の回りの整理・整頓は自分でやっている。「しているほうが多い」を含め、「身の回りのことを自分でしている」と答えた生徒の正答率は、市及び全国の正答率を上回っている。

(5) 先生や友だち、近所の人に会った時、あいさつをしていますか。

あいさつ	1 あいさつをしている	2 しているほうが多い	3 していないほうが多い	4 あいさつをしていない	無答もしくは重答
	47.6%	41.5%	9.6%	1.3%	0.0%

あいさつと正答率の関係

	1 あいさつをしている	2 しているほうが多い	3 していないほうが多い	4 あいさつをしていない	市全体	全国
総合	62.6	61.0	54.7	42.0	60.9	59.9
国語	68.6	67.8	62.5	44.8	67.3	67.3
数学	53.2	52.0	45.6	36.5	51.7	52.4
英語	66.0	63.1	56.2	44.8	63.5	60.0

(分析)

「あいさつをしている」「しているほうが多い」と答えた生徒が全体の約89%で、昨年度を上回り、多くの生徒が、先生や友だち、近所の人にあいさつをしている現状である。「あいさつをしているほうが多い」を含め、あいさつをしている生徒の正答率は、市の正答率を上回り、逆に、「あいさつをしていないほうが多い」を含め、あいさつをしていない生徒の正答率は、市及び全国の正答率を下回っている。

(6) 相手や場面に応じて、言葉づかいに気をつけていますか。

ていねいな言葉づかい	1 気をつけている	2 いるほうが多い	3 いないほうが多い	4 気をつけていない	無答もしくは重答
	46.2%	45.0%	8.1%	0.7%	0.0%

言葉づかいと正答率の関係

	1 気をつけている	2 いるほうが多い	3 いないほうが多い	4 気をつけていない	市全体	全国
総合	64.0	59.8	51.2	44.9	60.9	59.9
国語	70.0	66.6	57.7	51.1	67.3	67.3
数学	54.3	50.9	43.3	38.1	51.7	52.4
英語	67.5	61.8	52.6	45.0	63.5	60.0

(分析)

「気をつけているほうが多い」を含め、言葉づかいに気をつけている生徒は約90%となっている。言葉づかいに気をつけている生徒の正答率が、市及び全国の正答率を上回っている。逆に、「気をつけていないほうが多い」を含めて、気をつけていない生徒の正答率は、市及び全国の正答率を下回っている。

(7) 学校のものや公共物を大切にしていますか。

ものの扱い方	1 大切にしている	2 しているほうが多い	3 していないほうが多い	4 していない	無答もしくは重答
	63.7%	33.2%	2.8%	0.3%	0.1%

ものの扱い方と正答率の関係

	1 大切にしている	2 しているほうが多い	3 していないほうが多い	4 していない	市全体	全国
総合	62.7	58.9	47.3	38.7	60.9	59.9
国語	69.0	65.4	54.5	48.3	67.3	67.3
数学	53.4	49.9	39.5	25.3	51.7	52.4
英語	65.6	61.3	47.7	42.0	63.5	60.0

(分析)

「大切にしている」と答えた生徒が最も多く、「しているほうが多い」を含め、大切にしていると答えた生徒の割合は約97%となっている。大切にしていると答えた生徒の正答率が、市及び全国の正答率を上回っており、逆に、「していないほうが多い」を含め、大切にしていないと答えた生徒の正答率は、市及び全国の正答率を下回っている。

(8) 学校のきまりを守って生活していますか。

きまりを守る	1 守っている	2 しているほうが多い	3 していないほうが多い	4 守れていない	無答もしくは重答
	46.2%	47.5%	5.4%	0.8%	0.2%

学校のきまりと正答率の関係

	1 守っている	2 しているほうが多い	3 していないほうが多い	4 守れていない	市全体	全国
総合	64.1	59.8	46.7	40.7	60.9	59.9
国語	70.0	66.6	54.0	52.5	67.3	67.3
数学	55.1	50.4	38.2	28.1	51.7	52.4
英語	67.0	62.4	47.9	41.3	63.5	60.0

(分析)

「しているほうが多い」を含め、守っていると答えた生徒は約93%となっており、ほとんどの生徒が学校のきまりを守って生活している。「守っている」と答えた生徒の正答率が、市及び全国の正答率を上回っており、「していないほうが多い」を含めて、守れていない生徒の正答率は、市及び全国の正答率を下回っている。

(9) 普段ものごとを最後までやり遂げようとしていますか。

やり遂げる	1 している	2 しているほうが多い	3 していないほうが多い	4 していない	無答もしくは重答
	34.9%	54.0%	9.2%	1.3%	0.6%

ものごとをやり遂げることと正答率の関係

	1 している	2 しているほうが多い	3 していないほうが多い	4 していない	市全体	全国
総合	64.8	60.7	50.0	41.3	60.9	59.9
国語	70.5	67.1	59.1	52.4	67.3	67.3
数学	55.9	51.6	40.3	31.2	51.7	52.4
英語	67.9	63.5	50.6	40.3	63.5	60.0

(分析)

「しているほうが多い」を含め、やり遂げようとしている生徒は約88%となっており、おおむね最後までやり遂げようとしている現状である。ものごとを最後までやり遂げようとしている生徒の正答率は、市及び全国の正答率を上回っている。

(10) 学校の授業時間以外に、普段（月～金曜）1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか。（学習塾や家庭教師を含む）

勉強時間	1 3時間以上	2 2～3時間	3 1～2時間	4 30分～1時間	5 30分より少ない	6 まったくしない	無答もしくは重答
	6.7%	25.3%	30.8%	14.6%	9.8%	12.8%	0.1%

勉強時間と正答率の関係

	1 3時間以上	2 2～3時間	3 1～2時間	4 30分～1時間	5 30分より少ない	6 まったくしない	市全体	全国
総合	67.7	66.7	62.0	58.7	55.0	50.1	60.9	59.9
国語	71.5	70.9	67.4	66.6	64.6	61.2	67.3	67.3
数学	59.7	57.7	53.7	48.8	44.0	40.1	51.7	52.4
英語	71.6	71.6	64.9	60.7	56.4	48.7	63.5	60.0

(分析)

学校の授業時間以外に1日あたり1～2時間勉強している生徒が最も多い。1時間以上勉強している生徒が全体の約62%である。すべての教科において、1時間以上勉強している生徒の正答率は、市及び全国の正答率を上回っている一方、1時間未満の生徒の正答率は市及びの正答率を下回っている。

(11) 学校の授業で黒板に書いてあることや、先生の説明をノートに書いていますか。

書くこと	1 きちんと書いている	2 書いているほうが多い	3 書いていないほうが多い	4 書いていない	無答もしくは重答
	74.9%	20.1%	3.3%	0.8%	0.9%

ノートに書くことと正答率の関係

	1 きちんと書いている	2 書いているほうが多い	3 書いていないほうが多い	4 書いていない	市全体	全国
総合	63.7	54.9	42.4	30.4	60.9	59.9
国語	69.6	63.4	50.7	36.5	67.3	67.3
数学	54.5	45.3	36.2	24.5	51.7	52.4
英語	67.1	55.9	40.1	29.9	63.5	60.0

(分析)

「書いているほうが多い」を含め、きちんと書いている生徒は、生徒全体の95%となっており、ほとんどの生徒が、学校の授業で黒板に書いてあることや、先生の説明をノートに書いている。「きちんと書いている」と答えた生徒の正答率が、市及び全国の正答率を上回っている。

(12) 授業中に発言をしますか。

発言する	1 よく発言する	2 ときどき発言する	3 ほとんど発言しない	4 まったく発言しない	無答もしくは重答
	16.7%	43.9%	29.0%	10.0%	0.4%

授業中の発言と正答率の関係

	1 よく発言する	2 ときどき発言する	3 ほとんど発言しない	4 まったく発言しない	市全体	全国
総合	73.1	63.7	55.2	45.2	60.9	59.9
国語	75.6	69.0	64.0	56.3	67.3	67.3
数学	66.3	54.8	44.6	35.0	51.7	52.4
英語	77.1	67.2	56.9	44.4	63.5	60.0

(分析)

「ときどき発言する」と答えた生徒の割合が最も多い。「ときどき発言する」を含め発言すると答えた生徒の正答率は、市及び全国の正答率を上回っているが、逆に「ほとんど発言しない」を含めて、発言しない生徒の正答率は、市及び全国の正答率を下回っている。

(13) 携帯電話で通話やメールをしていますか。

携帯電話	1 ほぼ毎日している	2 ときどきしている	3 まったく、または、ほとんどして	4 携帯電話を持っていない	無答もしくは重答
	39.9%	24.4%	4.2%	30.8%	0.8%

携帯電話の使用と正答率の関係

	1 ほぼ毎日している	2 ときどきしている	3 まったく、または、ほとんどして	4 携帯電話を持っていない	市全体	全国
総合	59.0	61.0	64.2	63.0	60.9	59.9
国語	65.7	67.6	70.0	69.1	67.3	67.3
数学	48.7	51.6	55.3	55.5	51.7	52.4
英語	62.5	64.0	66.6	64.3	63.5	60.0

(分析)

「ほぼ毎日している」と答えた生徒が最も多く、昨年度を上回り、約40%となっている。「携帯電話を持っていない」と答えた生徒は昨年度より下回っている。ほぼ毎日している生徒の正答率が、市及び全国の正答率を下回っている。

(14) 読書は好きですか。

読書	1 好き	2 どちらかといえば好き	3 どちらかといえば好きではない	4 好きではない	無答もしくは重答
	38.0%	34.8%	18.2%	8.5%	0.7%

読書と正答率の関係

	1 好き	2 どちらかといえ ば好き	3 どちらかといえ ば好きではない	4 好きではない	無答もしくは 重答	全 国
総 合	64.1	60.9	57.6	54.2	60.9	59.9
国 語	71.7	67.3	62.7	58.8	67.3	67.3
数 学	54.0	51.4	50.2	46.5	51.7	52.4
英 語	66.5	64.0	59.9	56.9	63.5	60.0

(分析)

「どちらかといえ好き」を含め、好きと答えた生徒は約73%となり、昨年度を下回っている。好きと答えた生徒の正答率が、市及び全国の正答率を上回っている。一方、「どちらかといえ好きではない」を含め、好きではない生徒の正答率は、市及び全国の正答率も下回っている。

(15) 家や学校、図書館で普段(月～金曜)、1日あたりどれくらいの時間、読書
をしますか。(教科書や参考書、漫画、雑誌は除く)

読書時間	1 2時間以上	2 1～2時間	3 30分～1時 間	4 15分～30 分	5 15分より少 ない	6 まったくし ない	無答もしくは重答
	4.9%	6.4%	16.0%	30.4%	28.0%	14.1%	0.2%

読書時間と正答率の関係

	1 2時間以上	2 1～2時間	3 30分～1時 間	4 15分～30 分	5 15分より少 ない	6 まったくし ない	市全体	全 国
総 合	55.6	60.7	62.9	65.1	61.4	50.5	60.9	59.9
国 語	66.1	69.5	69.7	70.7	67.1	57.3	67.3	67.3
数 学	46.4	50.6	53.1	55.8	52.4	42.2	51.7	52.4
英 語	54.4	62.0	65.7	68.7	64.6	51.7	63.5	60.0

(分析)

家や学校、図書館で1日あたりの読書時間について「まったくしない」「15分より少ない」と答えた生徒の割合が全体の約42%となっている。読書時間が、15分～1時間の正答率は、市及び全国の正答率を上回っている。

(16) 学校は好きですか。

学校好き	1 好き	2 どちらかといえ ば好き	3 どちらかといえ ば好きではない	4 好きではない	無答もしくは 重答
	30.8%	46.1%	14.4%	8.4%	0.3%

学校好きと正答率の関係

	1 好き	2 どちらかといえ ば好き	3 どちらかといえ ば好きではない	4 好きではない	市全体	全 国
総 合	62.8	62.0	57.4	54.2	60.9	59.9
国 語	68.5	68.4	64.7	61.7	67.3	67.3
数 学	53.4	53.1	48.1	44.2	51.7	52.4
英 語	66.2	64.3	59.4	56.5	63.5	60.0

(分析)

「好き」「どちらかといえば好き」と答えた生徒は、生徒全体の約77%となり、生徒の正答率は、市及び全国の正答率と同じか上回っている。「どちらかといえば好きではない」を含め、好きではないと答えた生徒の正答率は市及び全国の正答率を下回っている。

(17) 勉強は好きですか。

勉強好き	1 好き	2 どちらかといえば好き	3 どちらかといえば好きではない	4 好きではない	無答もしくは重答
	5.2%	19.3%	40.4%	35.0%	0.2%

勉強好きと正答率の関係

	1 好き	2 どちらかといえば好き	3 どちらかといえば好きではない	4 好きではない	市全体	全国
総合	68.8	67.3	61.5	55.4	60.9	59.9
国語	72.0	72.2	68.3	62.9	67.3	67.3
数学	61.9	58.8	52.0	45.9	51.7	52.4
英語	72.8	71.0	64.1	57.4	63.5	60.0

(分析)

「どちらかといえば好きではない」「好きではない」と答えた生徒は、生徒全体の約75%となっている。「好きではない」と答えた生徒の正答率が、すべての教科において市及び全国の正答率を下回っている。

7 まとめ

学力調査の結果から、領域別・観点別の結果の一部に課題が見られるものの、全体的には昨年度に引き続き、全国標準値を上回っている。これは、教員一人一人が日々の授業の充実を図り、着実に取り組んできたこと、各学校が作成し実践している「学力向上プラン」による取組が充実してきたこと、委嘱研究や自主研究を計画的に行うことで教員の資質が向上したことなどが要因であると考えられる。

各学校では、自校の学力調査結果から成果と課題を明確化、共有化して「学力向上プラン」を改善するとともに、一人一人の児童生徒の実態に応じたきめ細かな指導の具体的な手立てを計画して引き続き取り組むことが重要である。特に、1時間ごとの授業の充実に向けて、「学力向上プラン」の内容を着実に実施していく必要がある。

また、授業研究会・研究協議会等において、その授業実践における具体的な手立ての効果を検証し、さらなる改善を図ることが大切である。

小学校第6学年及び中学校第3学年では、昨年度に続き質問紙調査を行い、学力との相関関係を分析した。各学校では、教職員が一丸となり、「教育に関する3つの達成目標」との関連を図り、「規律ある態度」の育成や学習規律の確立に向け、家庭や地域住民等との連携も深めつつ、独自の実践を重ね、日々、取り組んでいるところである。調査結果から伺えるように、「規律ある態度」の内容や、「早寝・早起き・朝ごはん」をはじめとする生活態度や規則正しい生活のリズム、正しい言葉づかいやあいさつなどは、学力を向上させる基盤となるものである。今後も、基本的な学習規律や生活習慣を一層確立するため、家庭との連携をさらに推進することが必要である。

教育委員会では、各学校が、今回及びこれまでの調査結果を生かし、委嘱研究や授業研究会等をとって学習指導の工夫・改善を図ることができるよう支援する。また、学校・家庭・地域が連携を深め、互いに協力して児童生徒一人一人に確かな学力を身に付けさせることができるよう働きかけていく。